

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
<p>かいものあそび</p> <p>～おかいもの おかいもの～</p>	小	<p>グループ学習</p> <p>小高 シロクマグループ</p> <p>（国語・算数）</p>	<p>重永 将志</p> <p>馬着 桂子</p> <p>栗本 千津子</p>

<ねらい>

- お買い物あそびの中で、自ら見て選び、楽しみながら活動に取り組む。
- 教師と一緒にやりとりしながら買い物あそびを楽しむ。
- 写真カードを見て同じものを選び、買うことができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

●自分たちで作った食パンやリンゴやミカン、バナナや卵を使ってかいものあそびをしました。写真カードを持って、同じ商品を選んで買うことにも取り組んだ。

活動内容：『おかいもの おかいもの』の絵本を読み、買う物を選んで自分でカゴに入れ、レジまで行って買う。というかいものの流れをイメージした。次に教師と一緒に実際に商品が並んだ売り場で、やりとりしながら商品を選び、レジでお金に見立てたコインを渡して商品を受け取るあそびを繰り返した。一連の流れが身に付いたところで、商品を写真カードで選び、同じものを選ぶ遊びに展開していった。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- 絵本を読むことで、かいもののイメージがでやすかった。
- 自分が買いたいものを選んでカゴに入れることが楽しく、積極的に取り組む姿が見られた。
- 選んだ写真と同じものを買わなければいけないが、他のものも買いたい。初めは写真カードとは違う自分が買いたいものを中心に選ぶ姿が見られたが、見本を見て繰り返すうちに頼まれたものを買う意識がついてきて、写真と同じものを選ぶことができてきた。
- ひとりひとり活動時間がながくなってしまふことが多く、待ち時間がながくなってしまった。授業の時間配分や、商品を戻すなどの役割分担など、工夫して待ち時間が少なくなる工夫も必要と感じた。